

国民平和大行進 和歌山→広島コース 5月11日(土) 高野町役場前広場 出発集会 13:00~



—核兵器禁止条約の早期発効を—



中央 高野町辻本総務課長



伊都郡通し行進者



伊都地区労の方、金森さん(新婦人)、祐伯さん(市民生協)

5月11日土曜日、快晴の真夏日。高野町の平和行進です。集会の冒頭、「1979年、県内全市町村平和行進が真言密教聖地の高野山から出発しました。その時の沿道募金は220円、高野中学校の生徒さんが手を差し伸べました」と県原水協の挨拶。続いて、高野町辻本総務課長が「二度と核戦争はおこさせない」との平野高野町長メッセージを代読。続いて、わかやま市民生協の祐伯さんが決意表明をしました。最後、伊都民商の松浦会長がアピールを読み上げます。辻本課長は昨年同様「横断幕」を持ち記念写真に応じて頂きました。又、集会前被爆者募金への協力を要請。「募金箱」をお渡ししました。

高野山には二人連れ男女の外国人観光客が辻々を歩いています。今年は、外国人の旅行者向けに「英語版テープ」を作成し、宣伝カーより流しました。手を振ると返しに手を振って頂いたり、笑顔で親指を立て「イイネ！」サインをくれます。高野町の商店街の方々も笑顔で手を振って頂きました。そんな外国の方に、新婦人金森さんが英会話で簡単なコンタクトをとり、少し話しながら行進をしました。集会・行進参加者は18人でした。伊都郡1市3町全ての平和行進に伊都原水協事務局長大城さん、橋本・伊都民商松浦会長、玉置事務局が3年連続参加しました。次の平和行進は5月13日月曜日、海南市を歩きます。